

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



自分の世界の広げ方

本を読むことは好きですか？

私は小学六年生の時、一冊の本と出会いました。それまでの人生（と言っても短いですが…）で、本を一冊読みきる経験のなかった私にとっては、初めて読みきった一冊でした。本の内容が、自分を取り巻く環境と似ていたことが読みきれた要因でしたが、そこから私は、本を読む楽しさを知ることができました。

本を読むようになると、登場人物の感情や思いを想像したり、共感したりするようになりました。それは、それまで自分のことしか考えることができていなかった自分にとって、大きな変化でした。大袈裟ですが、本を読むことが自分の中の世界を広げてくれたのだと思っています。

私たちは、みんな自分の世界を持っています。その世界が小さいと、目で見える世界も小さくなっ

てしまいます。いろんなものを見て楽しむためにも、自分の周りの世界とうまく付き合うためにも、自分の世界を広げた方が良く私は思っています。そこで考えるのが自分の世界の広げ方です。自分の世界の広げ方はたくさんあります。実際に体験したり、自分の知らない所へ行ったりすることが一番良い方法だと思います。しかしそれは時間的にも労力的にも大変です。

だから私は本を読みます。実際に経験することはできなくても、その場所やものを知ること、自分の世界を広げられると実感しているから。

鏡野中学校では朝十分間、読書の時間があります。短いですが、この時間が生徒の世界を広げる時間になることを期待しつつ、私は今日も一緒に、本を読んでいます。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野中学校 栗田 勇輝

のびのびひろば

上齋原幼稚園

10月



手品も披露してくれました。

みんなと みんなと おしゃべりしました

上齋原幼稚園では、10月になると毎月1回“朝の会”という、いろいろな方からお話を聞く機会を設けています。

10月…地域の方が、民話や昔話を語り聞かせてくださいました。11月…小学校の先生が、いたずらおもちゃの作り方を教えてくださいました。12月…中国語と英語が得意な小学校の先生から、それぞれの国の言葉で自己紹介の仕方を教わりました。そして2月は、教頭先生から、茶道（抹茶の点て方・飲み方）について教えていただき、実践しました。幼稚園の職員だけでは経験できない、貴重な体験をさせていただいています。

12月



「我是～。」
（ウオ シー ～。）
「I'm ～。」
「私は～です。」

11月



勇気がある人は
あけてみて！



2月



足がしびれた～！

